

第4回 裾野市の教育のあり方検討委員会

※ 18時30分開会

※ 20時00分開会を目処

学校教育課長	定刻となりました。本日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。私が、本日の司会進行を務めさせていただきます。 どうぞよろしくお願いいたします。 はじめに、開会を教育部長よりお願いします。
教育部長	ただいまから「第4回 裾野市の教育のあり方検討委員会」を開会いたします。 どうぞよろしくお願いいたします。
学校教育課長	次に、教育長より挨拶をお願いします。
教育長	・・・あいさつ・・・  今日はICTについて話し合いを予定している。 市では、子供たちがコンピュータのアプリケーションを使って学習を進めている。 何ができるのか 委員の豊富な経験から教えてほしい。
学校教育課長	次に、委員長より挨拶をお願いします。
委員長	・・・あいさつ・・・ 現状の裾野らしさがないテーマ 裾野らしい使い方、あり方について意見がほしい。 多次元にして裾野らしさを出したい。

<p>学校教育課長</p>	<p>次に、協議事項に入らせていただきます。 ここからは、村山委員長に議事進行をお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、議事を進めていきたいと思います。 本日は、資料にあるとおり1つの事項につきまして協議を進めていきたいと思います。 はじめに、「ICT使用の現状報告及びICTの捉え」について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>教育監</p>	<p style="text-align: center;">・・・教育監より 説明・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ICT使用の現状報告及びICTの捉えについて説明</p> </div> <p>学力調査の説明 中学生は、県を上回る使用率となっている。 小学校が低いというのは、担任が授業を担当しているため、教材研究が追い付いていないということが予想される。 また、個人差も大きいのではないかとと思われる。</p> <p>リタリコ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの実態 アセスメント</li> <li>・特別支援の経験に関係なく、アセスメントができる。</li> <li>・子供の困り感を見いだせる。</li> <li>・通常学級に広げていくことが提案されている。</li> </ul> <p>Lifeis tech</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理念について</li> <li>・次世代のデジタル人材を育成する。</li> <li>・今年度は東中の技術、来年度は市内全中学校で導入予定。</li> </ul> <p>裾野市のICTの位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会とのつながりが広がる。</li> <li>・教師は、子供の見立てや環境を整える役割がある。</li> </ul>
<p>委員長</p>	<p>次に、委員の皆様のICTの使用状況や今後、ICTを使ってどんなことができるか、意見交換をしたいと思います。 どう使っているか？</p>

	<p>人とのつながりがあるかどうか軸の一つになると思う。ツールとして使うことで、人と人とのつながりが生まれてくる。</p> <p>市内の学校をICTでつないで、共通時間割を作って授業をしていた。</p>
委員	<p>違う学校で時間割を合わせるのが難しいのではないかな？</p> <p>前々から、どのような準備をしたのかな？</p>
委員	<p>その日だけ、例えば3, 4時間目だけ、参加したい学校は、大学や教育委員会と調整してやるという形。月に一回、だけど必ず参加という形ではなく、先生も選ぶことができるようになっていた。</p>
委員	<p>自分の学校以外の違うコミュニティとのつながりを議論してきたので、一つの案となると思う。</p> <p>時間割を合わせるということについては、ハードルが高い感じを受けたので、質問した。</p>
委員長	<p>事前にどのようなトピックで？</p>
委員	<p>小学校の社会科がメインで、広島県内を学ぶ学習で、自分の市を取り上げて学習するというのをやっていた。</p>
委員長	<p>事前に先生同士で話し合い？</p>
委員	<p>大学の先生がその日の授業のファシリテーターとなり、場合によってはそれぞれの学校の先生がその役割を担っていた。</p>
委員長	<p>20年くらい前、遠くとやり取りするのをやっていた。</p> <p>太陽の高度の測定を違う地域で観測するのをやっていた</p> <p>自分たちの市内のことについて、共通点はあるけど違いもあるということで、見方を広げる学習を行っていたと。</p> <p>代表ではない子供たちはどうやっているのかな。</p>
委員	<p>クラスの中で考えてみてと投げかけ、その後クラス内で話し合い、最後は代表が話すことになっていたが、全体としてみると全員が参加する形になっていた。</p>
委員長	<p>代表の子はいつも同じではない方がいい。</p>
委員	<p>いつも同じということはなく、そのあたりは先生がうまくリードしていた。</p>

委員	ICT 調べ学習 翻訳アプリ CCキャリアチャレンジという時間に、戦争について調べて発表した。学校への連絡もCラーニングというアプリを使い、保護者から欠席連絡を送るなどの活用をしている。
委員	もっとうやって使えたらいいのと思うことは？積極的にICTを使おうという観点からすると、狭まっていないかと感じることは？
委員	自分でコンピュータを購入している。学校からの貸し出しの人、購入した人はGoogleのアカウント 割り振りされていて制限がある。調べる分には、特に制限は感じない。壁紙を変えられないとかはあるが。
委員	愛着をもって端末を使うとなると、壁紙を変えられるという方がいいという話も聞いたことがあった
委員長	Google lensは、使うことはある？
委員	カメラを使うときは、校内でアンケートをとるときに使うことはあるが、google lensを使う姿は見かけない。
委員長	貸し出しの端末は持って帰れる？
委員	持って帰れる。
委員	アプリとかは、自分で入れられるのか？
委員	それもやはり制限がある。例えば、動画関係は入れられない。Chat GPTは、国語の作文の学習で使うことはある。丸パクリはできないが、それを参考にして生徒が自分なりに解釈し、作文やレポートを書くことはある。
委員長	Chat GPTを使っていいのか、どうか迷いはある？
委員	教員からの指示でChatGPTを使っているので、悪い感じは持っていない。
委員長	大学で「小学生がchat GPTを使うのはいいかどうか、またそのメリットについて」を議論した。 自分で一から探すよりも、まとまって検索できるので、いろいろと考える分にはいい。友達と意見交換して、自分の考えと違う考えを聴く

	<p>ことがあるが、やはりChat GPTのほうが多様な意見を聴くことができるという感覚はある？</p>
委員	<p>友達とA Iに聞くのと比べると、A Iの方が意見が広がる。</p>
委員長	<p>授業中にちょっと友達に聞いてみようという機会は減っている？</p>
委員	<p>ChatGPTを使えない時間もあるので、友達と話している時間が短くなっている感覚はない。</p>
委員長	<p>使い分けがあると思う？</p>
委員	<p>簡単なことなら友達に聞くが、例えば文章の構成などはChatGPTに聞くことはあるかもしれない。簡単なことなら友達に聞いた方が早い。</p>
委員長	<p>両方あったら、友達にも聞いてみたいと思う？</p>
委員	<p>友達の考えや思いを聞いたかったら、A Iではなく友達の考えが劣っているということはないと思う。</p>
委員	<p>人とのつながりというテーマの中で、どうやってICTを使っていくかということのをどのように考えていくか。同じ教室にいる友達と学習する中で、ChatGPTのようなものをどのように使っていか。</p> <p>問いについて、友達に聞くのか、A Iに聞くのかを判断できる力をつけることが大事。</p> <p>横にいる人とどんなことを達成していくのかを考えていくことが大切では。</p>
委員長	<p>作文を書くだけだったら、A Iでいいと思うけど、イベントを作るとなると仲間と話し合って作るのが大切だと思う。</p>
委員	<p>対人関係の苦手な人にとってみたら、最高の話し相手。ただ、みんながみんなそうだとは言えないので、どうしていったらいいのかを考えていくことが大切。</p> <p>対人関係の苦手な人にとつたら、生きやすくなるのかも。</p>
委員	<p>学校は、爆発的に変わっている。最初は使うことが目的。今はツールになっている。使い方も様々。調べることに加えて、意見を交換したり、表明するときに使ったりとアウトプットするときに使う。</p> <p>中学校は普通に使っている。外とのコミュニケーションというよりは学習の目的を達成させるためのツールとして使っている。</p>

	<p>使い方を誤ると、つきたい力がつきにくくなってしまいうという感じは持っている。</p>
委員長	<p>具体的には？</p>
委員	<p>思考をつけていくときに、答えを割と簡単に出せてしまう。子供たちはすぐに調べる。簡単に答えが出るので、本当にこれでいいのかなと感じることがある。</p>
委員長	<p>今は普通に使われているが、ある学校に視察に行った際、一度もタブレットを開かない学校があり、異様に感じた。</p>
委員	<p>委員が言っていたことに賛成していて、手段でしかない。目的によって、プロセスにおいて力をつけたいときは、実態に即した学び方をしていく。制限をかけて学んでいくということもやる。 目的に応じて、手段をしばるような使い方が必要。</p>
委員長	<p>まず基礎のトレーニングというところがあるが、できあがりはいまいちでも仕方ないということがある。すごいものができることでもっとがんばれるということもあるので、違う形の教育を目指していくことができると思う。 道具を使ってその人の能力が上がるわけではなく、その人が道具を上手に使えるからできるという考えにもなる。 ICTが入ってくることによって、ますますその意識が高まっているように思う。 作文書く力をつけましょうという学習と、何を使ってもいいのでよい作文を書きましょうという学習とでは、使い方が変わるように思う。</p>
委員	<p>検索をして出てきた答えを、本当に良いのかを判断できる力をつけていかなければいけない。  調べればある程度でてくるが、それがなぜよいものなのかを考えることが大切。人が読んだときに、印象に残る文章にするには、こんな技法を使った方がよいという考え。 学び方が変わっていくのかと思う。</p>
委員	<p>校正しやすくなったし、鉛筆よりも入力しやすくなったので、子供たちも取り組みやすくなった。</p>
委員	<p>デジタルは何でもチャレンジできるようになった。</p>

委員	<p>小学校では、調べるところが中心だったのが、発表するところ、意見を一度に映し出せてみることができる。</p> <p>言えなくても書くことによって伝えることができる。授業の指導の選択肢が広がった。</p> <p>2年生の授業を見ていて、欠席していた子に担任がオンラインで呼びかけ、意見を聴くなどしていた。</p> <p>若い先生方は、使い方を抵抗なく挑戦できる。</p> <p>学校評価の中で、予定を書いて確認してというものがだんだんオンラインで知らせるという形になってきたが下の学年の先生はやはり書いた方がよいという意見が出された。</p> <p>教師は書く力をどこで育むのかという視点を持っていないといけないと感じた。</p>
委員長	<p>書くということについて、本当に教えないといけないことはなにか。</p> <p>これまでは、書き上げるということをやっていたが、タブレット使っていていいとなったときに、本当に書く力は何かと言われると難しい。</p> <p>電卓が出てきたときに、計算の仕方が分かっていたらいいのかどうかの議論がなされてこなかった。</p> <p>書く力は何かとなったときに、ここまで力をつけるという共通理解を図ることが難しくなっている。小学生に絶対につけないといけない力は何と言われたときに、しばらくは混乱すると思う。</p>
委員	<p>作文コンクールは、今は打った文章でよい。今まで何度も修正していたことが苦勞していたことは何だったのかと思った。</p>
委員	<p>原稿用紙に向き合って、残り数行でどんなことを書こうかと考えていたが、今は文字数も表示されて直すこともできる。原稿用紙と向き合っていた時に、文章の構成を考えていたのかと思うと、やはり書いた方がいいのかと思うが・・・。何を付けていったらいいのか。</p>
委員長	<p>書いた後に数の調整をするのが簡単だから、とりあえず書かせてみるようになるようになった。</p>
委員	<p>頭を使うことに時間を使えるようになっていくという理解。当時考えていたことを、今は使わない。</p> <p>AIで調べるときに調べたいことを調べるときに、的確に指示を出すという力がつく。</p> <p>これは、AIとの協働とともに、人との協働という力もついていく。</p> <p>なんとなく空気を読んでいたことが試行錯誤していた。</p> <p>試行錯誤のトレーニングができて、今は団体戦でやろうというものを中心になっていて、どんな指示を出したらいいかということを考える</p>

委員長	<p>トレーニングになる。          どういうトレーニングをするときにAIを使うとよいかということを考えることになる。</p> <p>AIはコミュニケーションの練習の道具である、見方考え方が身につくようになる。</p>
委員	<p>コミュニケーションが苦手な子にとっては、よいツール。苦手な子が結果を残していることは、実際ある。空気を読んで、楽しい空気を出してということではなく、本当に自分が考えていることを伝えることが大切と言うことを考えると、苦手な子にとってはありがたいもの。</p>
委員	<p>やりたいことが何なのかを端的に伝えないといけない。</p>
委員	<p>コロナの時、子供が休んでいるときに使えるといいなということは感じていた。休んだとしても、学習に遅れないというのは、便利になったなと感じた。</p>
委員長	<p>入院していた子が勉強に遅れがないように学習できるようになったという事例もある。          裾野はコロナの時期はどのようにICTを導入できたのか？</p>
委員	<p>コロナの時は、流しっぱなしが多かった。流れの中で双方向になっていったが、どうしても一斉でやらなければということになるので、流しっぱなしになっていたと思う。</p>
委員	<p>使えるギガ数が多かったので、割合できていた。それが今、生きている。不登校の子も、別室にしながら映像を見て参加している。</p>
委員	<p>裾野は、小中はwifiがとんでいる？          LTEなら、皆さんが持っているスマホと同じように使えていると。家に持ち帰っても接続できて、ギガ数も多いと、授業でも使える。</p> <p>保護者としてもICTを使うようになってきた。区の中でも、PTAで使うようになっている。          PTAからの印刷物はアプリ上でやりとりもある。          働いている方も増えているので、クラウド上に書類をアップロードすることに抵抗感がない方が増えており、いろいろなことをやりやすくなっている。          コロナ時期もオンラインで集まりをするということもやってきた。実際、学校に集まるという機会が減った。</p>



	<p>欠席連絡はオンライン上でできるが、学校で受け付ける人はいるものの担任へは紙で伝えているということがある。そのあたりがよくなってくると、負担も軽減されると思う。</p> <p>資料の質問</p> <p>①東中のライフイズテックの事例について、自分のペースで学習ができる授業の中で手持ち無沙汰になっていないか？進度の早い子たちがサポートするようなことがあるのか？人とのつながりという面で。</p> <p>②リタリコは、教員のサポートで入れているということ。今後は通常学級に入れていくということなので、負担軽減になる。教員の見る目の広がりになっていくと良い。</p>
事務局	<p>①ライフイズテックについては、進度の差は出てくるとし、近くにいれば教え合いも生まれると思う。近くに人がいれば聞いてということもあると推察する。</p> <p>②やがては通常級の方にも多様な見立てをする。子供自身の捉え、保護者の捉え、課題は何なのか 有効な手だてとなる。資料となる。</p> <p>経験のない者もいるので、皆で考えていくよい機会になると思う。</p>
委員	<p>子供たちがいろいろと考えていく上で幅出しになるし、先生たちの考えを幅出しすること、アドバイスになると思う。</p> <p>目的の達成のため、より生身の部分に向き合っていくための</p>
事務局	<p>リタリコは、学校に担当者がつく。学校とのかかわりで経験を積んでいるので、アドバイスを得られる可能性もある。</p>
委員	<p>多様な見立てができるようになっていくために役立つと思う。</p>
委員	<p>リタリコは、答えを出さないソフトにしている。実際に先生方とともに出てきた問題意識、アセスメントの見立てについて、大量の参考例を出していく。</p> <p>サジェストまでをする。人の主体性を奪わない作りになっている。個別の指導計画、通常学級の中でも使えるということを想定して開発している。</p>
委員長	<p>答えを伝えないことはどうなのか？</p>

委員	<p>専門家、心理カウンセラーも同じで、最後はこうだと言わない。このように見立てるが、あなたはどうかとする。近い設計で作っている。</p> <p>システムだからこそ感覚もなく受け入れることができるのかもしれない。</p>
副委員長	<p>話を聞いていて、複雑に感じた。子供たちがタブレットを使って自分の意見を伝えあう。そこに何が生まれるか。その子らしさの味を出しながら伝え合う。それがシステムの中でどのように浮き出てくるか。</p> <p>ICTを使うことに否定をしているのではない。</p> <p>それを使えるようになるためには、段階を踏まえないといけない。</p> <p>子供同士が意見を出し合い、聞き合うという時間をどのように確保していくか。</p> <p>石川の地震を見ていて、電気が通らない、通信が途絶えた状況のときに、最後に役立つのは紙媒体と言っていた。そして、情報網が復旧したときに、これで情報がとれる、これで友達と連絡が取れるという声が出ていた。</p> <p>学校でどのような力をつけていくのか。思考はどうなるのか。それも付随されていくと思うが。授業を見てみたい。</p> <p>チョークでやってきた時代の教員は変わっていかなければならない。</p>
委員長	<p>何が便利かは、使っていくうちにわかっていくのではないか。</p>
委員	<p>環境変化をどうとらえるかと、裾野市としてのICTの位置づけということに示唆が富んでいると思った。</p> <p>学校の小規模化は避けられない課題 多様性を受け入れるリアルで担保できていた。担保できなくなっている。</p> <p>コミュニケーションのフィールドすらなくなっている中で、地方で子供たちがどうやって力をつけていくか。</p> <p>ハートフルな目的にICTを使っていくことが必要なんだろうと思う。</p> <p>同じ会社の中でも会ったことがない人もいる。そういった人たちと協働していくときに、ICTがあるとコラボレーションできるという部分がある。</p>
委員長	<p>リアルが担保できる市ではなると思う。早くに取り組む学校があってもいいと思う。</p>
委員	<p>ノートを書いてひたすら黒板に写す ずっとやってきた。</p> <p>ICTの導入によって、黒板を画像で配信されることがあり、学習の</p>

委員長	<p>効率化になっていると思う。</p> <p>そこを自分でまとめるのが力になるという流れもある。</p> <p>また、先生の中で板書の上手な方が減っていることもあり、板書が役に立つとは限らない場合もある。</p>
委員	<p>子どもの方が教員よりも詳しい。使い方も良い方にも良くない方にもある。</p> <p>子供がどう取捨選択していくかということや養うことにもなるのではないか。子供の選択に対して、教員が選択肢を与えるということが、どんな力をつけていくかということとつながっていくのではないかと思う。</p>
委員長	<p>それでは、予定されておりました議事はすべて終了しました。皆様のご協力により議事をスムーズに進めることができました。進行を学校教育課長にお返しします。</p>
学校教育課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次に 「その他」 となります。何かございますか。</p>
教育監	<p>1点、前回の委員会議事録の確認と市ホームページへの議事録の公開についてご意見を伺いたいと思います。</p> <p>事前に委員の皆さまには、前回の議事録（要点筆記）を送付させていただきました。ご一読いただき、何か修正する点や変更点はございませんか。</p> <p>無ければ、前回の委員会議事録を確認いただいたということで、こちらで保管をさせていただきます。</p> <p>また、当委員会は公開で開催しておりますので、当議事録を市ホームページに公開することを予定しております。若干、発言者の表記に留意した上で、公開したいと考えておりますが、宜しいでしょうか。</p> <p>（・・・異議がない場合・・・）</p> <p>それでは、準備が整い次第、当議事録を市ホームページにて公開させていただきます。</p>
学校教育課長	<p>他に、何かございますか。</p> <p>無ければ、閉会に移らせていただきます。</p> <p>閉会のあいさつを教育部長、お願いします。</p>

教育部長

次回の日程につきましては、2月13日（火）となりますので、よろしくお願ひします。また、事前に開催通知や資料等の準備が整いしだい送付させていただきます。

最後に、皆様方から、何かございますか。

無いようですので、これで「第4回 裾野市の教育のあり方検討委員会」を閉会いたします。

お疲れ様でした。